

平成30年3月31日

平成29年度の主な事業報告

社会福祉法人 いずみ会

社会福祉事業

1. 第一種社会福祉事業
 - (イ) 障害者支援施設「西山荘」の設置経営
2. 第二種社会福祉事業
 - (イ) 生活介護（西山荘）
 - (ロ) 短期入所（西山荘）
 - (ハ) 共同生活援助「ケアホームいずみ」
 - (ニ) 多機能型事業所（生活介護、就労継続支援B型）「千樹の里」
 - (ホ) 多機能型事業所（生活介護、就労継続支援B型）「オードリー」
 - (ヘ) 指定特定相談支援事業所「りあん相談支援センター」

公益事業

収益事業

平成29年度 法人本部事業報告

平成30年3月31日

第1部 総括

1. 事業展開

- (1) 事業規模が小さいため、執行率の変動が大きくなっています。

第2部 事業活動について

2. 監事監査 (役員報酬支出)

- (1) 5月29日 監事監査

3. 評議員会理事会 (役員報酬支出)

- (1) 6月9日 理事会

議案1：平成28年度事業報告及び決算報告及び監事監査報告

議案2：平成29年度第1回補正予算 (案)

議案3：「西山荘」空調設備工事及び入札方法について (案)

- (2) 6月22日 評議員会

議案1：平成28年度事業報告及び決算報告及び監事監査報告

議案2：役員 (理事・監事) の選任 (案)

- (3) 6月26日 理事会

議案1：理事長選任

- (4) 9月12日 理事会

議案1：平成29年度第2回補正予算 (案)

議案2：「リヴェール」「エアージュ」「オードリー」建物整備における費用の借り入れ条件の変更について (案)

議案3：理事長の職務の報告

議案4：定時評議員会開催について (案)

- (5) 3月5日 理事会

議案1：管理者の選任 (案)

議案2：評議員会開催について (案)

- 議案3：定款の改正（案）
- 議案4：平成29年度第3回事業計画変更及び補正予算（案）
- 議案5：平成30年度事業計画及び当初予算（案）
- 議案6：埼玉県指導監査の報告
- 議案7：経理規程の改正（案）
- 議案8：法人組織規程の改正（案）
- 議案9：育児・介護休業規程の改正（案）
- 議案10：旅費規程の改正（案）
- 議案11：預り金管理規程の改正（案）
- 議案12：理事長の職務の報告

(6) 3月14日 評議員会

- 議案1：定款の改正（案）
- 議案2：平成29年度補正予算（案）
- 議案3：平成30年度事業計画及び当初予算（案）
- 議案4：埼玉県指導監査の報告

- 4. 第三者委員連絡会 3月26日（役員報酬支出）
- 5. 運営連絡会議（理事長、各施設） 毎月1回開催
- 6. 法人研修（研修研究費）
平成29年度は、東洋大学の講師を呼び1回、法人研修を行いました。

第3部 施設整備等について

- 7. なし

第4部 その他の活動について

- 8. 法人本部繰入金について（拠点区分間繰入金収入）
各事業区分から頂いています。
- 9. 法人本部繰入金について（拠点区分間繰入金支出）
りあん相談支援センターに支出しました。

平成29年度西山荘事業報告

平成30年3月31日

第1部 総括

1. 運営方針

利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立った公正で適切な支援を行うと共に、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進します。

適度な運動を取り入れ、高齢化による体力等の低下を防止し、出来る限り居宅に近い環境の中で、潤いある生活と清潔で快適な居住環境を提供し、地域や家庭との結び付きを尊重した支援を行います。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

(1) 定員、利用者数（平成30年3月31日 現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
生活介護	60	58	人員配置加算(1.7:1)
短期入所	2	2	送迎加算
施設入所支援	57	54	重度障害者支援加算

(2) 利用者延べ人数(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
生活介護	1,129	1,244	1,188	1,156	1,213	1,193	1,239	1,189	1,172	1,191	1,086	1,227	14,227
利用率	89.6%	98.7%	94.3%	91.7%	96.3%	94.7%	98.3%	94.4%	93.0%	94.5%	86.2%	97.4%	94.1%
施設入所支援	1,535	1,587	1,536	1,555	1,551	1,542	1,608	1,553	1,585	1,578	1,461	1,599	18,690
利用率	86.9%	89.8%	86.9%	88.0%	87.8%	87.3%	91.0%	87.9%	89.7%	89.3%	82.7%	90.5%	88.2%
短期入所	40	46	61	39	19	42	29	37	4	2	5	23	347
利用率	66.7%	76.7%	101.7%	65.0%	31.7%	70.0%	48.3%	61.7%	6.7%	3.3%	8.3%	38.3%	48.2%
												合計	

	定員
生活介護	60
施設入所支援	57
短期入所(空床型)	2

3. 職員配置（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）配置数（平成30年3月31日 現在）

事業の種類	配置	現員
生活介護	1.7:1	常勤23名、非常勤25名
短期入所	1.7:1	生活介護に含む
施設入所支援		生活介護に含む
その他		常勤6名、非常勤2名

4. 事業内容（全体）

（1）生活介護

班活動を中心に、情緒障害やてんかん発作、自閉症、高齢の方等、個々の利用者のペースに合った下記の3つの活動を実施しました。また、利用者の身辺面、健康面を把握し、必要に応じたサービス（ケア・薬処置・通院等）の提供を行いました。

・レクリエーション班

高齢の方が多く所属されていたため、介護予防体操、口腔嚥下体操、レクリエーション、散歩、足浴等の体力維持や機能訓練に力を入れるとともに、利用者個々の特性に応じてのぬりえの提供を行ない、情緒の安定とストレス軽減を目標にして1年間活動を行いました。

・リサイクル班

強度行動障害、発達障害の方が主として所属しており、空き缶、ペットボトル等のリサイクル作業を行いました。太田ステージを活用し、発達段階を分析することで、個々の発達に応じた作業工程を提供しました。また、プログラムを変わずに提供することで情緒の安定を図りました。

・園芸班

比較的体力のある方が所属しており、野菜・花の栽培、敷地内の環境整備を主に行いました。野菜は地域の行事や面会日に保護者に販売しました。室内作業は貼り絵を行い、施設内に毎月掲示しました。1月からは地域の企業から内職を受注して利用者の個々の特性に応じた作業を提供しました。

（2）短期入所（ショートステイ）

障がいのある方が居宅において、その介護者の疾病その他の理由により一時的な保護が必要な際に短期間の入所を提供しました。

（3）施設入所支援

生活面では、衣類、寝具などを含めた居室環境の向上を利用者と共におこないました。衛生面では日々の棟内消毒、棟内清掃を行い清潔な環境を提供する事に努めました。

5. 食事（給食費）

年1回嗜好調査を実施し、利用者の希望を献立に組み入れ、喜ばれる食事を提供しました。利用者の誕生日には、希望のメニューを提供しました。その他、バイキング形式で食事の提供をしました。

6. 保健・健康管理（保健衛生費支出）

バイタルチェック	毎日
健康相談、外耳道清掃、体重測定	毎月
胸部レントゲン	7月31日
インフルエンザ予防接種	11月16日
内科検診	4月27日 10月26日

7. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

買い物外出、食事外出、お花見外出、ゴールデンウィーク外出等を提供しました。日帰り旅行を春、秋2回行いました。日帰り旅行は利用者の年齢や健康面、適応性を考慮して春は群馬サファリパーク、埼玉元気プラザにての和紙作り体験、秋は榛名山ロープウェイ、ニューサンピア埼玉おごせでの観劇と分けて行いました。運動クラブでは希望者を対象に、グランドや施設周辺の歩行を行い、11月のスリーデーマーチに参加しました。

平成29年度 行事

(金額単位：円)

月	行事	費用	月	行事	費用
4	花見外出	0	10	秋祭り	63,410
5	春のレク	24,851	12	クリスマス・忘年会	16,813
6	日帰り旅行	71,850	1	新年会	9,515
7	七夕祭り	10,121	2	節分	11,124
8	夏祭り	11,241	3	ひな祭り	8,316
9	日帰り旅行	82,500			
	お月見会	9,120			

8. 衛生・環境（全体）

入浴は週3回実施しました（男性～月・水・金/女性～火・木・土）。また、希望者及び利用者の状況によって、シャワー浴や清拭を行いました。シーツは週1回交換し、洗濯は業者に委託しました。

9. 安全指導（全体）

・【避難訓練、防犯訓練】

毎月実施すると共に、その内2回（6月21日、12月13日）は西入間消防組合、設備業者の立会いの下で避難訓練・職員の消火訓練・通報訓練を実施しました。防犯訓練は対応訓練を中心に6月より毎月実施いたしました。

・【交通安全教育】

7月13日に紙芝居等を利用して交通安全教育を実施しました。

3月22日には西入間警察署より2名来荘されDVD鑑賞、腹話術による交通安全指導、横断歩道の渡り方の実践、及び指導をして頂きました。

10. 地域とのかかわり（全体）

町社協主催のふれあい広場や亀井小学校の行事等、地域の行事に参加しました。また、ボランティアや慰問等を積極的に受け入れ、障がいや施設に対する理解を深めると共に、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていただきました。

11. 面会・帰宅・保護者会

面会日は毎月第三日曜日、保護者会定期総会は4月、保護者会定例総会は8月、保護者会忘年会は12月に実施しました。5月の春のレクリエーション、10月の秋祭りを保護者会参加の行事として行いました。

第3部 施設整備等について

12. 施設整備について

(1) 空調設備工事

収入：共同募金会（3,790,000円） 自己資金

支出：11,874,600円

(2) 西山荘敷地木伐採及び駐車場整備工事

収入：鳩山町樹木補償及び土管等撤去補償（337,108円）自己資金

支出：1,891,415円

(3) 防犯対策設備工事

収入：国庫（2,153,000円） 自己資金

支出：2,870,856円

第4部 その他の活動について

13. 法人本部繰入金について

規程通り行う。

14. 修繕積立金について

規程通り行う。

平成29年度ケアホームいずみ事業報告

平成30年 3月31日

第1部 総括

1. 運営方針

ケアホームいずみでは、家庭的で温かみのあるホームの運営をしていきます。その中で利用者の能力に応じた支援を行い、自立した日常生活を送れるよう支援をしていきます。

第2部 事業活動について

2. 新規ホーム開設

ホーム名：グローブ

定員：5名

開所日：平成29年 4月 1日

所在地：ときがわ町大字玉川1322-2

3. 定員変更

ホーム名：新宿町ホーム

定員：6名(5名から6名に変更)

変更日：平成29年12月 1日

4. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、現在の利用者数（平成30年 3月31日 現在）

ホーム名	定員	現員	備考（加算等）
なか街	3	3	夜間世話人1名配置
リヴェール	7	7	夜間世話人1名配置
エアージュ	9	9	夜間世話人1名配置
新宿町ホーム	6	4	夜間世話人1名配置
グローブ	5	4	夜間世話人1名配置
合計	30名	27名	

(2) 利用者延べ人数(平成29年度)

	ホーム名	平成29年									平成30年			小計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	なか街	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,095
	利用率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
2	リヴェール	210	217	210	217	215	210	198	180	186	210	196	217	2,466
	利用率	100%	100%	100%	100%	99%	100%	91%	85%	85%	96%	100%	100%	96%
3	エアージュ	269	278	269	277	278	270	279	267	274	274	249	277	3,261
	利用率	99%	99%	99%	99%	99%	100%	100%	98%	98%	98%	98%	99%	98%
4	新宿町ホーム	120	124	120	124	122	120	124	120	122	124	112	127	1,459
	利用率	80%	80%	80%	80%	78%	80%	80%	80%	65%	66%	66%	68%	75%
5	グローブ	80	92	88	82	89	82	88	87	84	75	80	88	1,015
	利用率	53%	59%	58%	52%	57%	54%	56%	58%	54%	48%	57%	56%	55%
												合計	9,296	

	ホーム名	定員
1	なか街	3
2	リヴェール	7
3	エアージュ	9
4	新宿町ホーム	6
5	グローブ	5
	合計	30

備考

- ・新宿町ホーム定員変更...平成29年12月より定員5名から6名に変更する。
- ・グローブ開所...月～金曜日

5. 職員配置の予定（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

(1) 現在の配置数（平成30年 3月31日 現在）

ホーム名	配置	現員
なか街	5 : 1	常勤5名 非常勤30名
リヴェール	5 : 1	
エアージュ	5 : 1	
新宿町ホーム	5 : 1	
グローブ	5 : 1	
合計		35名

6. 事業内容（全体）

(1) 共同生活援助について

食事作りや、掃除、洗濯、買い物など日常生活の能力が向上するような支援を心掛けてサービスを提供しました。また、地域の催し等に参加し、地域の方々と交流出来るような環境を提供しました。

(2) 日中活動について

平日は、在寮した利用者の生活支援、通院といった支援を提供しました。その他、家族や通所先との連絡調整、グループホーム連絡会の参加等といった関係機関との調整を図りました。

休日は買い物や外出等を取り入れ、充実した生活が送れるよう支援を提供しました。

7. 食事（給食費支出）

誕生日や週末など、利用者が希望する献立を取り入れ食事を提供しました。

8. 保健・健康管理（保健衛生費支出）

健康管理	検温・血圧測定は朝夜実施。体重測定は毎月実施。 医療機関通院の支援。
胸部レントゲン	年1回（7月実施）
インフルエンザ	年1回（11月実施）

9. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

平成29年度 行事実施表

月	行事	月	行事
4	お花見	10	映画鑑賞
5	ぼたんまつり	11	ゲームセンター
6	温泉	12	季節行事(クリスマス)
7	バーベキュー	1	季節行事(初詣)
8	カラオケ	2	節分、いちご狩り
9	ポーリング	3	お疲れ様会

10. 衛生・環境（全体）

入浴は週3回実施しました。（火、木、土）夏場や、希望者に対しては曜日に関係なく提供しました。寝具等の洗濯は随時実施しました。
寮内は全面禁煙。

11. 安全指導（全体）

【避難訓練】～年2回実施しました。避難訓練・職員の消火訓練を実施しました。

12. 地域とのかかわり（全体）

地域行事等には積極的に参加しました。また、利用者や職員には地域の一人である事を伝え協力を投げかけました。その他、グループホーム連絡会や、市の会議等に参加し情報の交流を行いました。

13. 面会・帰宅・保護者会（全体）

利用者、家族の都合に合わせて実施しました。

第3部 施設整備等について

14. 施設整備について

(1) エアージュ消防設備工事

火災通報装置、消防署連動装置設置

収入：自己資金

支出：324,000円

第4部 その他の活動について

13．法人本部繰入金について

法人本部繰入金及び相談支援事業への負担金については、規程通り行いました。

14．修繕積立金について

規程通り行いました。

平成29年度千樹の里事業報告

平成30年3月31日

第1部 総括

1. 運営方針

利用者個々の能力や適性に応じた支援を心掛け、自立した日常活動を営むことの一助となるような支援をしてまいります。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、利用者数（平成30年3月31日 現在）

事業の種類	定員	現員	備考（加算等）
生活介護	15	13	2：1の職員配置加算
就労継続支援B型	20	19	目標工賃達成指導員配置加算
合計	35	32	

(2) 利用者延べ人数(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
生活介護	234	242	243	219	237	219	234	233	218	200	208	239	2,726
利用率	78.0%	70.1%	73.6%	69.5%	68.7%	69.5%	70.9%	70.6%	69.2%	66.7%	69.3%	72.4%	70.7%
就労継続支援B型	396	451	442	423	453	416	393	400	371	314	309	354	4,722
利用率	99.0%	98.0%	100.4%	100.7%	98.5%	99.1%	89.3%	90.9%	88.3%	78.5%	77.3%	80.5%	91.9%
												合計	7,448

	定員
生活介護	15
就労継続支援B型	20

3. 職員配置（人件費支出・障害福祉サービス等事業収入）

（1）配置数（平成30年3月31日 現在）

事業の種類	配置	現員
生活介護	2 : 1 *1	常勤4名、非常勤6名
就労継続支援B型	7.5 : 1 + 1 *2	常勤1名、非常勤5名

*1職員配置は5以上で3 : 1の配置でよいのだが、2 : 1の職員配置加算を取得しているため。

*2目標工賃達成指導員配置加算ありのため7.5 : 1の配置に加え、常勤換算1以上の配置が必要。

4. 事業内容（全体）

（1）生活介護

利用者同士の連帯感、共助性を助長させられるような支援を心掛け、挨拶や規律性を通じて人間関係を維持、向上できるような支援を行いました。また、自閉症やてんかん等発作のある方については、家庭と連携し安定した生活がおくれるよう心掛け、支援を行いました。

毎月1回の医師来所による診察及び、毎週1回の看護師による健康チェックを行ない、健康面の把握に努めました。

日中活動は本人の能力に応じた作業を、負担にならない範囲で行ないました。作業内容については、年間を通してアルミ缶を潰すリサイクル作業の他、ゴム製品のバリ取り作業を12月末まで行い、それ以降はボールペンの組み立て作業を行いました。運動不足の解消や身体機能の維持向上のため、西山荘のグラウンドや近隣の公園で散歩を行うとともに、月2回町の体育館を借用し、軽い運動を行いました。また、レクリエーション活動として、毎週月曜日の午後にカラオケを行いました。

（2）就労継続支援B型

作業を通じて連帯感や協調性を養うとともに、楽しさを体感しその結果、収入を得る喜びを味わっていただき、充実した日々を送れる一助になるよう支援を行ってまいりました。

受託作業

利用者の工賃確保を見込めるのは受託作業に負うところが多く、その自覚をもって受注に応えてまいりました。

従来どおり贈答品の箱や化粧箱の組み立ての他、水道管に防音材を巻く作業から、誰でも行えるボールペン組み立て作業に変更し、それら3カ所の業者からそれぞれ受注をいただき取り組みました。

施設外就労

ときがわ町内にある「手漉き和紙たにの」の工房へ週3日通い、細川紙（和紙）の原料となる楮の皮むき作業を行いました。

引き続き業者との信頼確保に努め、継続的に量の受注確保ができるよう努力し、工賃向上に努めてまいります。

5. 食事

昼食を希望される利用者には、仕出し弁当を提供しました。

6. 保健・健康管理（保健衛生費支出）

バイタルチェック	毎日（生活介護のみ）
体重測定	毎月
看護師による健康チェック	毎週（生活介護のみ）
医師による診察	毎月（生活介護のみ）
胸部レントゲン	7月24日
インフルエンザ予防接種	11月30日

7. 行事・余暇活動・買い物外出（教養娯楽費）

利用者にとって作業が楽しみと思えるような支援を心掛け、毎日の日課が作業のみという単調なものにならないよう下記予定表どおりの行事を実施するとともに、オードリーと合同でグループ外出を企画し、年1回小グループでの外出を実施いたしました。利用者の特性に応じ計画し、外出する機会を通じて社会性の向上を図り、生活意欲が出るような各種行事を実施し好評でした。

平成29年度 行事

（金額単位：円）

月	行事	予算	月	行事	予算
4	お花見	4,511	10	クッキング	3,286
5	ハイキング	4,350	11	レクリエーション会	18,983
6	工場見学	1,500	12	忘年会	8,064
7	七夕祭り	1,822	1	新年会	9,857
8	おやつ外出	8,530	2	節分	4,995
9	一泊旅行	306,080	3	クッキング	3,815

8. 衛生・環境（全体）

利用者の状況によって、シャワー浴や着替えを適宜行いました。
棟内は全面禁煙としました。

9. 安全指導（全体）

・【避難訓練】～年2回（10月、3月）消防署立会いの下で避難訓練及び職員の消火訓練、通報訓練を実施しました。

・【交通安全教育】～玉川駐在所へ交通安全教育についての依頼を行い、3月に実施しました。

10．地域とのかかわり（全体）

比企地域障害者音楽交流会や特別支援学校の行事等、地域の行事に積極的に参加しました。

また、ボランティアや実習等を積極的に受け入れることを念頭に当該年度は、都幾川中学校より中学2年生4名の職場体験実習及び、ときがわ町在住の大学生3名の介護等体験実習の受け入れを行いました。引き続き施設に対する理解を深めていただくと共に、利用者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。

災害発生時には、町当局や地域住民と協調して不時の災害に対処します。

第3部 施設整備等について

11．施設整備について

(1) 利用者玄関、外水道庇工事

収入：自己資金

支出：777,600円

(2) 2階クロス張替工事

収入：自己資金

支出：1,242,648円

(3) 2階照明、エアコン入替工事

収入：自己資金

支出：2,314,839円

第4部 その他の活動について

12．法人本部繰入金について

法人本部繰入金及び相談支援事業への負担金については、規程通り行いました。

13．修繕積立金について

規程通り行いました。

平成29年度りあん相談支援センター事業報告

平成30年3月31日

第1部 総括

1. 運営方針

障害者総合支援法の目的である、利用者個々の有する能力及び適性に応じた、自立した生活を営むことができるよう支援すると共に、地域交流、社会参加の促進を図る事ができるようサービスの提供を行います。

イ、利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを心掛けます。

ロ、自ら提供する相談支援の評価を行い、改善を心掛けます。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）現在の利用者数（平成29年4月1日～平成30年3月31日の積算）

事業の種類	職員	1年の積算	備考
計画作成	専任1、兼任1	29件	
モニタリング		70件	

3. 職員配置

（1）現在の配置数（平成30年3月31日 現在）

種類	人数	備考
管理者	1名	相談支援、ケアホーム管理者兼務
相談支援専任	1名	非常勤
相談支援兼任	1名	りあん、ケアホーム管理者兼務
事務員	1名	非常勤

・平成29年10月12日より事務員(非常勤)を採用しました。

4. 事業内容

（1）指定特定相談支援事業

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを利用する利用者もしくは

保護者に対し、契約を結び、『サービス等利用計画』の作成、『モニタリング』を実施しました。計画書を作成する際は、利用者の課題、ニーズを把握する為にアセスメントを行いました。また、受給者証の期限、もしくは必要に応じ継続サービス利用支援(モニタリング)、サービス調整会議を実施しました。

また相談支援事業所がある東松山市でも、事業に係わる会議や研修会などに参加し、他事業所との交流や情報収集等に努めました。

営業日時

- (1)営業日 週5日(月・火・水・木・金)
- (2)営業時間 8時30分から17時30分
- (3)休日 土、日、祝祭日、年末年始

第3部 施設整備等について

なし

第4部 その他の活動について

5. 相談支援繰入金について

法人本部より800万円の繰り入れがありました。

平成29年度オーダー事業報告

平成30年3月31日

第1部 総括

1. 運営方針

利用者個々の能力や適性に応じた支援を心がけ、自立した日常生活を営むことの一助となるような支援を行ってまいりました。

第2部 事業活動について

2. 利用者数（障害福祉サービス等事業収入）

（1）定員、利用者数（平成30年3月31日現在）

事業の種類	定員	現員	備考
生活介護	13	15	平均区分4.46
就労継続支援B型	28	12	
合計	41	27	

平成29年度 月別延べ利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
就労継続支援B型	179	189	171	165	175	142	168	160	145	147	163	174	1978
利用率	26.1%	30.9%	31.2%	27.6%	29.7%	29.7%	30.1%	30.5%	26.9%	27%	29.6%	25.8%	28.6%
生活介護	210	249	240	235	250	277	255	252	251	257	277	317	3070
利用率	92.7%	100%	107.7%	98%	106.7%	98.2%	98%	99.6%	86.2%	96%	113.5%	103.7%	100%
計	389	438	411	400	425	419	423	412	396	404	440	491	5048

事業の種類	定員
生活介護	13
就労継続支援B型	28
合計	41

3. 職員配置（人件費支出、障害福祉サービス等事業収入）

（1）配置数（平成30年3月31日現在）

事業の種類	配置	現員
生活介護	5 : 1	常勤1名、非常勤3名
就労継続支援B型	7.5 : 1	常勤2名、非常勤1名

4. 事業内容（全体）

（1）生活介護

利用者同士の連帯感や共助性を助長させられるような支援を心がけ あいさつや規律性を通じて人間関係を維持、向上できるような支援を行いました。

また自閉症やてんかんのある方については家庭と連携し安定した生活が送れるよう心がけ支援を行いました。

市内高橋内科胃腸科クリニック医師による往診をお願いし健康面の把握に努めました。

日中活動は本人の能力に応じた作業を負担にならない範囲で行うと共に運動不足の解消や身体機能の維持向上のため健康増進センターの除草作業と言った外活動も取り入れました。

（2）就労継続支援B型

作業を通じて連帯感や協調性を養うと共に、楽しさを体感し その結果として収入を得る喜びを味わってもらい充実した日々を送れる一助になるように支援を行ないました。

受託作業

工賃確保を見込めるのは受託作業に負うところが多く その自覚を持って受注に応えてきました。

新たに受託したボールペン組み立ての作業を中心とし正確な製品の納入 納期厳守を徹底し受注確保に努め安定した工賃確保に繋げてきました。

受託作業

東松山市健康増進センターの除草作業を請け負いました。内職と同等の工賃を得ることができ

利用者の工賃向上に繋がりました。また普段は椅子に座って行う仕事が多くなっていたことから

外で体を動かすことで運動不足解消にも繋がりました。来年もよろしくと声をかけられたことから

仕事内容もある程度は認められ 感謝されることで心の充実も感じられた作業でした。

5. 食事

昼食を希望される利用者には仕出し弁当を提供しました

6. 保健、健康管理

バイタルチェック	毎日
体重測定	毎月
医師による健康チェック	毎月
病院での健康診断	7月
インフルエンザ予防接種	10月

7. 行事、余暇活動（**教養娯楽費**）

利用者にとって通所が楽しみと思えるような支援を心がけ 毎日の日課が作業のみと言う単調なものにならないように下記の通り行事を実施いたしました。普段の作業からの気分転換を図ると共に通っていて楽しい、また通いたいと思ってもらえるような行事を実施しました。

月	行事	月	行事
4	お花見	10	桐生が丘公園
5	AGFコーヒー工場	11	若葉 聖天宮
6	行田 蓮の里公園	12	クリスマス会
7	七夕	1	初詣
8	平和資料館展望台	2	鉄道博物館
9	一泊旅行	3	むさしの村

8. 衛生、環境（**全体**）

生活介護利用者には月、水、金の午後 入浴サービスを提供しました。

その他の方についても夏場のシャワー浴などを適宜行いました。

棟内は全面禁煙としました。

9. 安全指導（**全体**）

避難訓練 ～ 年2回実施すると共に 消防署立ち合いの下での避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しました。

10．地域とのかかわり（全体）

特別支援学校の行事への参加や地域のボランティアの受け入れなどオープンな施設を心がけました。

また近隣へのあいさつなどを定期的に行い関係の構築に努めました。

今後とも施設に対する理解を深めていただくと共に 通所者には地域の一員であるとの認識を深めていきます。

第3部 施設整備等について

11．施設整備について

（1）特にありません。

第4部 その他の活動について

12．法人本部繰入金について

規定通りに行いました。

13．修繕積立金について

H30年度より行います